

# 公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-250-2920(山の下図書館)

|         |   |
|---------|---|
| 年度      | 平成29年度  |
| 施設名     | 新潟市立山の下図書館  |
| 所管部・課   | 中央図書館   |
| 施設の設置目的 | 図書館法第10条の規定に基づき、図書、記録その他必要な資料を収集・整理・保存して市民の利用に供し、その学習、調査研究、レクリエーション活動等に寄与することを目的とします。 |

|          |             |     |          |
|----------|-------------|-----|----------|
| 当初予算(千円) | 当初人員(人)     | 作成日 | H29.5.31 |
| 歳入       | 中央に含む 正職員 2 | 修正日 |          |
| 歳出       | 中央に含む 非常勤 4 | 評価日 |          |

| No. | 視点 | 目標   | 評価指標                               |       |       |       |       | 参考・補足 | 主な事業等  | 目標達成状況<br>未達成理由                        | 評価 |
|-----|----|--|------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--|----|
|     |    |  | 項目                                 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |       |        |  |    |
| 1   | 市民 | 市民や地域の身近な課題解決を支援します。   | レファレンス受付件数(単位:件)                   | 1,278 | 1,543 | 2,919 | 3,000 |       | 教育ビジョン | ・レファレンス(調査・相談)の充実と市民・区役所内への周知          |    |
| 2   | 市民 | 「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境の整備に努め、子どもたちの学力や豊かな心を育む教育を推進します。 | 読書ノートの配布(単位:冊)                     | 435   | 569   | 237   | 250   |       |        | ・「うちどく(家読)」の推進と年間を通して読書ノートの配布を実施       |    |
| 3   | 市民 | 「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境の整備に努め、子どもたちの学力や豊かな心を育む教育を推進します。 | 「赤ちゃんタイム」の実施による「おはなしのじかん」参加者(単位:人) | 220   | 233   | 202   | 210   |       |        | ・「赤ちゃんタイム」の実施(毎週火曜日)<br>・「おはなしのじかん」の実施 |    |
| 4   | 市民 | 市民の暮らしや仕事に役立つ、幅広い資料・情報の収集・提供に努めます。                               | 資料の展示回数(回)                         | 21    | 11    | 18    | 20    |       |        |  |    |
| 5   | 人材 | 職員の職務遂行能力(専門的能力・待遇等)の向上を図ります。                                    | 各種研修会への参加延べ人数(単位:人)                | 37    | 38    | 25    | 30    |       |        | ・各種研修会への参加                             |    |

| 取り組みについて(目標設定の考え方など)  | 総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など) |
|---|-------------------------|
| <p>「新潟市立図書館ビジョン」の後期実施計画、「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、市民の読書活動を推進するため図書館サービスに努めます。</p> <p>昨年に引き続き、市民の多様なニーズを把握し、効果的な資料の収集・保存・提供に努めます。また、レファレンスサービスに力を入れ、利用の増加を図ります。さらに、「赤ちゃんタイム」を実施し、声掛けを徹底することにより「おはなしのじかん」への参加者の増加を図ります。</p> <p>資料の展示では、展示した資料は利用されやすいので、29年度は力を入れて実施回数の増加を図ります。</p> |                         |